

【大曲ふれあいプラザ編】

このシートは、

2020

調査実施分

No.

54

2019

ファシリティコスト分

58,147 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和2年度

施設名	大曲ふれあいプラザ		
-----	-----------	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	54
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	商工業振興課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	大曲工業団地7丁目3番地1 (大曲)	敷地面積	5,593 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-		建築年度	平成7年度	
建物構造	S	延床面積	1,279 m ²	経過年数	25年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	511,600千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	8,798円/人

3 管理運営データ

利用状況	H29年度	H30年度	R1年度	平均利用者数	管理形態				
	8,374人	7,530人	7,651人	7,852人	指定管理者				
ファシリティコスト 平成31年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等	733		支 出	①施設維持コスト	修繕料	770	
		国費	-				火災保険料	10	
		道費	-				維持管理委託料	-	
		その他	-				敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	8,999				工事請負費	-	
	合 計		9,732		その他維持費	-		小 計	780
	②施設運営コスト	-		-	②施設運営コスト	人件費	-		
		-				光熱水費	-		
		8,952				運営委託料	8,952		
-		その他運営費	-						
小 計		8,952		合 計(①+②)		9,732			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	1,239円/人		167円/人		7,609円/m ²				



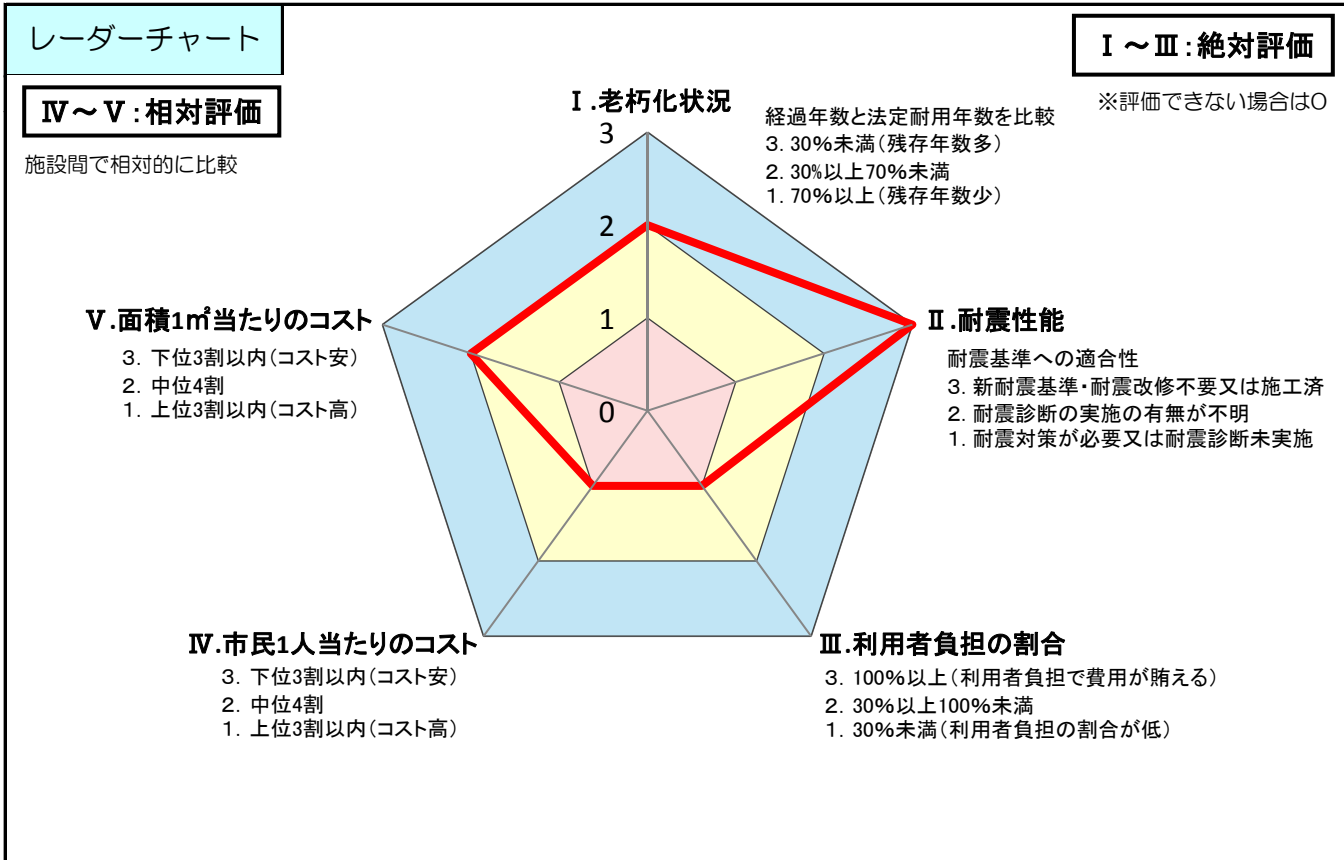
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H21	外壁・サッシ修繕	5,230	H29	電気設備修繕	198
H22	床修繕	550	H29	外構修繕	39
H23	エレベーター修繕	1,386	H29	外構修繕その2	50
H26	冷房設備修繕	585	H30	天井吸排気ダクトカバー他修繕	50
H27	暖房便座取付	281	H30	消防用非常設備修繕	270
H27	非常灯交換	378	R1	音響設備交換	149
H28	暖房便座取付	317	R1	給湯器設置	622
H28	非常灯交換	209			
H28	冷房設備交換	6,837			
H29	送水交互ポンプ修繕	115			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	66 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	8 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	167 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	7,609 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	